

GTFグリーンチャレンジデー

2024 in 新宿御苑

つなげよう、支えよう 森里川海

11/2 (Sat)・3 (Sun)

10:00-16:00(開園9:00)

※雨天決行・荒天中止

新宿御苑 入園料 大人500円/

65歳以上・学生(高校生以上)250円/中学生以下無料

お問合せ:GTF事務局03-3222-6262

公式イベントサイトはこちら!



ワークショップ

子どもから大人まで
楽しめるプログラムがいっぱい!

ステージ

音楽LIVE、トークショー、祭り!
北陸から、日本最古の民謡「こきりこ節」も登場!出演者は
裏面をチェック!若ぐるみも
登場!グリーンフォト
チャレンジたくさんのブースを回って写真を撮ろう!
一流シェフのおせち・出演者サイングッズ、
アマギフなど豪華景品を当てちゃおう!おしゃく
環食・
キッチンカー和洋中、日本を代表する一流シェフ監修メニューが御苑に!
能登北陸・東北を食べて応援しよう!

マルシェ

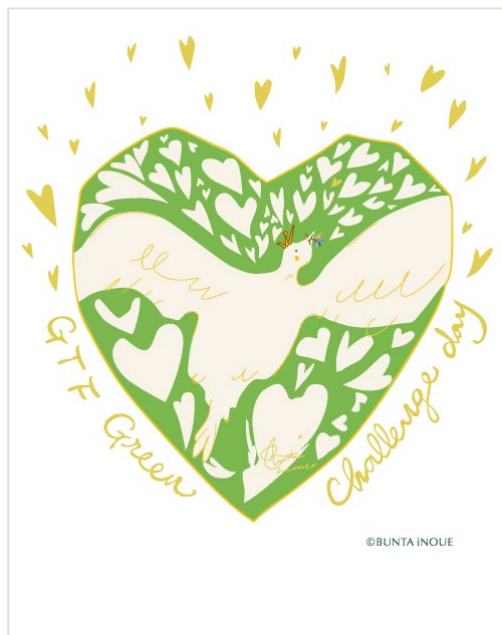
美味しい秋の恵みやエコな日用品がズラリ!
北陸・東北からの出展も!新宿御苑
菊花壇展日本庭園で
同時開催!

※イベントはイメージです。

実施報告書

GTFグレートウキョウフェスティバル実行委員会

GTFグリーンチャレンジデーについて



生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開催された2010年より、「一人ひとりが地球に優しい行動(=グリーンチャレンジ)に取り組むこと」の必要性を感じ、企業・自治体・団体・市民のグリーンチャレンジを応援し、一人ひとりがグリーンチャレンジに取り組むきっかけを創る(意識変容・行動変容)イベントとして、「GTFグリーンチャレンジデー」を開催しています。

都会のオアシスとも呼ばれ、豊かな自然や生きものとのつながりを体感できる国民公園「新宿御苑」をイベント会場に、官公庁・自治体・企業・NPO・学校などが集い、各ブースやステージなどから、各々のSDGs、環境活動の取り組みを、若年層・ファミリー層を中心に直接PRしています。

GTFグリーンチャレンジデー 3つの特徴

環境省との共催事業



環境省、2030生物多様性枠組実現日本会議、新宿区、TOKYO FM、TBSホールディングス、TOKYO MXが共催するイベントです。

SDGs・環境活動を市民に直接PRできる



企業・自治体が環境活動を直接市民にPRしています。**2024年は2万7千人を超える市民(ファミリー層)にご参加頂きました。**

都会のオアシス『新宿御苑』が会場



国有の日本に3つ存在する国民公園(他は皇居外苑、京都御苑)。**新宿御苑で環境活動をPRできる唯一のイベントです。**

イベントテーマとプログラム構成

つなげよう、支えよう 森里川海

私たちの日々の生活は、豊かないきもの同士のつながり、森里川海の恵みに支えられ成り立っています。しかし、行き過ぎた開発、温暖化などの地球環境の変化、外来種など様々な要因で、森里川海のとつながりや恵みが失われつつある現状があります。本イベントでは、「つなげよう、支えよう 森里川海」をテーマに、豊かな森里川海を時速可能なものとし、将来に引き継ぐために、1人ひとりがその恵みに感謝し、ライフスタイルを見直すきっかけとなるよう各プログラムを企画しました。

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトとは？

平成26年(2014年)年に、環境省内で立ち上げられたプロジェクトです。

本来、互いにつながり、影響し合っている「森」「里」「川」「海」が、行き過ぎた開発や利用・管理不足により、そのつながりが絶たれたり、それぞれの質が低下していることを受け、環境省だけではなく、地方公共団体、有識者、先進的な取り組みを実施している方々との対話や議論を行いながら、森里川海の恵みを将来にわたって享受し、安全で豊かな国づくりを行うための基本的な考え方と対策の方向を取りまとめを行っております。

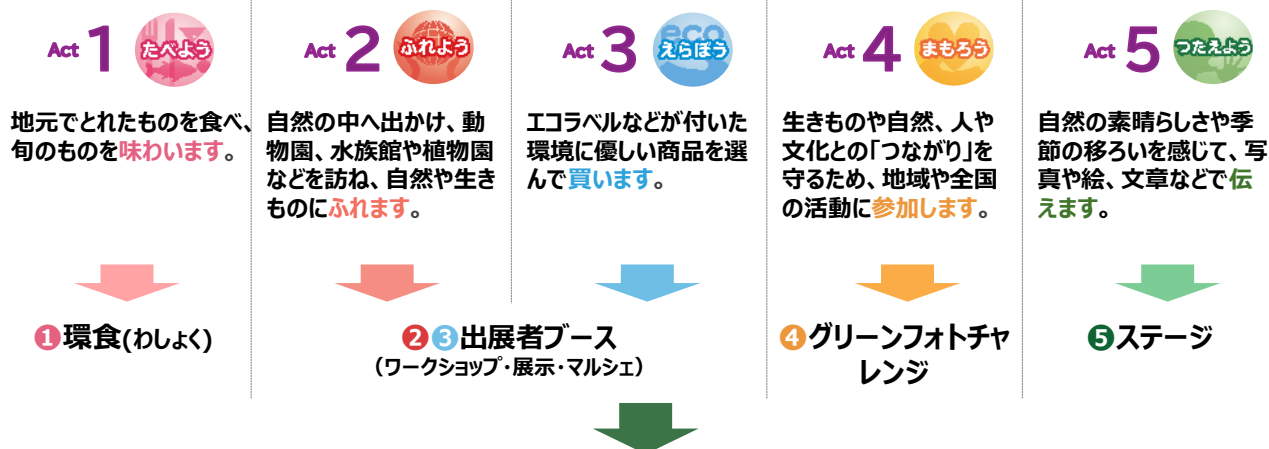
SDGsを暮らしの中で実践するために

2015年に国連で採択された国際目標「SDGs」を暮らしの中で実践する為に、森里川海とそのつながりの恵みを引き出し、豊かにくらせる社会をみんなで作りませんか？

本イベントでは、「カーボンニュートラル」「省資源・リサイクル」「再生可能エネルギー」「生態系保護」「プラスチックスマート」など、環境省、自治体、企業などが、結果として、森里川海とそのつながりの恵みを引き出すことにつながる活動をブースやステージを通して広く紹介しています。

これらの活動を分かりやすく参加者に伝える為に、イベントプログラムは、「国連生物多様性の10年日本委員会」が定めた5つの「MY行動宣言」に沿って構成しています。「MY行動宣言」は、市民1人ひとりが日常の中で生物多様性とのかかわりを認識し、身近なところから行動を始めるためのものです。

国連生物多様性の10年日本委員会が制定したMY行動宣言とイベントプログラム



5つのイベントプログラムを通して、7つのSDGsゴール達成に取り組めます



主催・共催の挨拶



GTFグレートウキョウ
フェスティバル実行委員会
実行委員長
後藤 亘

令和6年能登半島地震、能登豪雨で被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
さて、「GTFグリーンチャレンジデー in 新宿御苑」は、2010年にスタートし、皆様のご理解とご協力のおかげで、今年14回を迎えます。
本会の主旨に深いご理解とご支援をいただいておりますご関係者の皆様、イベントに参加して下さっている皆様に、主催者を代表して御礼申し上げます。

今年も過去最高の真夏日や猛暑日を記録し、地球温暖化を肌で感じるようになっていきます。また、水害や災害の報告も年々多くなっており、私たち一人ひとりが、「自分は、何をできるのか」を具体的に考え、行動する必要があると痛切に感じています。

このグリーンチャレンジデーには、「私たち、ひとりひとりが、地球に優しいアクションをはじめの日にしよう」という想いが込められています。

11月2日、3日は、新宿御苑に、環境省、自治体、企業、団体が集結し、魅惑のグリーンチャレンジがブースやステージから発信されます。

一流シェフプロデュースの美味しい食や、ワークショップ、マルシェ、コンサート、祭りのパフォーマンスなど、楽しい企画も充実しています。
そして、「能登北陸の森里川海をつなげ支えること」をテーマに、能登豚や七尾の玉子焼きや加賀野菜を使ったグルメや、北陸から日本最古の民謡「こきりこ節」のパフォーマンスなども予定しております。

当日は、皆様と一緒に、楽しみながら、地球や北陸に想いを寄せ、グリーンチャレンジをはじめの一日にいたしましょう。

皆さん、こんにちは。環境省自然環境局長の植田明浩です。グリーンチャレンジデー開催に当たって、共催者としてご挨拶申し上げます。



環境省 自然環境局長
植田 明浩

このグリーンチャレンジデーは、企業・自治体・団体・市民ひとり一人の地球に優しい行動＝「グリーンチャレンジ」を応援する日で、新宿御苑にて毎年開催してきました。
生物多様性を保全し、私たちが豊かに暮らしていくためには、生き物たちが暮らしていける環境を守っていくことはとても大切です。本イベントが開催される新宿御苑は、さまざまな生き物が暮らし、まさに都会のオアシスです。世界は今、生物多様性の損失を止め、回復軌道に載せていく「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて進んでいます。その達成に向けた一つの手段として、環境省では民間等の取組によって保全が図られている区域を「自然共生サイト」と認定する仕組みを開始しているほか、今年4月には、「生物多様性増進活動促進法」が成立しました。このような仕組みを通じて、全国各地で民間等の取組を促進しています。
国民の皆様は、日々の生活や買い物における商品やサービスの選択などを通じ、生物多様性の保全を行うことができます。それが、事業者による生物多様性の保全を後押しすることにつながります。こうして、ネイチャーポジティブ経済を皆様と共に作っていききたいと考えています。

グリーンチャレンジデー期間中は、福島県を始め、各地の様々な企業・団体がブースやマルシェを出店します。環境省では、国立公園、福島復興や環境再生に関するブース出展をします。脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを作る国民運動「デコ活」についても、チラシ等で情報発信を行います。
このグリーンチャレンジデーが、森里川海の恵みを感じ、生物多様性や気候変動、資源循環などの課題解決に向けて、皆が学び、繋がり合う機会になることを期待しています。
また、新宿御苑のインフォメーションセンター内には、まるで国立公園の中に居るかのような映像体験ができる4Kシアターなど、ここでしかできない体験を通して国立公園の魅力を体感できる「National Park Discovery Center」を設置しております。
11月2日、3日は是非新宿御苑にいらしてください。どうぞよろしくお願いいたします。



新宿区 区長
吉住 健一

本日、多くの方々のご参加を得て、「GTFグリーンチャレンジデー」が新宿御苑にて盛大に開催されますことに、心よりお祝いを申し上げます。

今回の「GTFグリーンチャレンジデー」は、日々の生活が「森里川海」の恵みに支えられていることの認識を深め、豊かな「森里川海」を将来に引き継ぐため、「つなげよう、支えよう森里川海」をテーマとし、さまざまな主体による地球に優しい行動＝「グリーンチャレンジ」を応援するイベントとなっています。

新宿区では、「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向け、「新宿区第三次環境基本計画(改定)」に基づき、さまざまな地球温暖化対策などに取り組んでいます。その中で、将来世代に向けた環境学習・環境教育の推進を大きな柱としています。

カーボンオフセット事業として区外に整備する「新宿の森」を活用した自然体験ツアーの実施のほか、小・中学生向けに作成した普及啓発読本を活用し、次代を担う子どもたちや若者への環境学習や環境教育をより一層推進しています。

今回もこうした取組をご紹介する区のブースに加え、「新宿の森」を開設している長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市の皆さまもブースを出展していますので、ぜひご覧ください。

結びに、今回の「GTFグリーンチャレンジデー」にお越しになった皆さまには、ぜひ、新宿のまちを楽しんでいただければと存じます。

開催概要



イベント名	GTFグリーンチャレンジデー2024 in 新宿御苑
開催日	2024年11月2日(土) & 3日(日)10:00~16:00 ※菊花壇展(例年11月1日~15日)と同時開催
場所	新宿御苑内 風景式庭園・整形式庭園 東京メトロ丸ノ内線 新宿御苑前駅出口1より 徒歩5分 JR・京王・小田急線 新宿駅南口より 徒歩10分
来場者数	27,462人 (11/2(土)4,408人 11/3(日)23,054人) 【2023年度実績】41,462人 11/4(土) 21,472人 11/5日(日) 19,990人】
出展者数	60ブース(61企画) ・ワークショップ:32 ・マルシェ:17 ・環食・キッチンカー:9 ・グリーンフォトチャレンジ:3
ボランティア	149名(アゼリーグループ、東京国際工科専門職大学、Support Our Kids)
主催	GTF グレーター トウキョウ フェスティバル実行委員会
共催	環境省/2030生物多様性枠組実現日本会議/新宿区/TOKYO FM/ TBSホールディングス/TOKYO MX
協賛 寄付	[協賛]:株式会社ブルボン/株式会社伊藤園/関彰商事株式会社/テンワス株式会社/日本製鉄株式会社/アゼリーグループ/税理士法人古田土会計/株式会社Jackery Japan [寄付]:株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
後援	復興庁/沼田市/伊那市/あきる野市/南砺市/甲賀市/東京商工会議所/東京都商工会議所連合会/一般財団法人三千年の未来会議/いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト実行委員会/全日本空輸株式会社/ビッグホリデー株式会社/株式会社ジャパンエフエムネットワーク
協力	一般財団法人国民公園協会/Wakiyaグループ/つきぢ田村/株式会社キョードー東京/一般社団法人WAZA JAPAN/タリーズコーヒージャパン株式会社/株式会社環境向学/株式会社紀文食品/株式会社サッポロ製麺/株式会社八芳園/SATOYAMA & SATOUMI movement 実行委員会/株式会社メッセージデザインセンター/株式会社ホリプロ・グループ・ホールディングス/株式会社サウンズネクスト/TSP東日本株式会社/東京国際工科専門職大学 地域共創デザイン実習/オイシックス・ラ・大地株式会社/株式会社Studio33/一般社団法人日本海老協会/一般社団法人全日本・食学会/Support Our Kids Project/ヒーローズエデュテイメント株式会社(順不同)
主管	特定非営利活動法人次代の創造工房

プログラム概要② ステージ

※イベントは10:00～開催

2 日 (土)

3 日 (日)

10:30

① オープニングセレモニー

主催者、共催者、SATOYAMA&SATOUMI movement
(まこと・上々軍団・宮崎 由加・ロージークロニクル)、
きぐるみ各種(だいだらぼジー、プチクマ、お〜いお茶くん、
ワクティ、ゆめらいおん、さとやまくん、がうがうくん)

10:45

② 新宿御苑 菊花壇展の楽しみ方 I

井上 文太(画狂人)

10:55

③ 新宿御苑 菊花壇展の楽しみ方 II

小坂 菜那(新宿御苑管理事務所 菊科)

11:05

11:10

④ GTF“祭りのカ”スペシャルパフォーマンス

神楽坂 かぐら連(阿波おどり)

11:25

11:30

⑤ グリーンフォトチャレンジの楽しみ方

SATOYAMA&SATOUMI movement
(まこと・上々軍団・宮崎 由加・ロージークロニクル)、
出展者・東京国際工科専門職大学

12:00

⑥ 脇屋友詞の環食(わしょく)の楽しみ方

脇屋 友詞(Wakiyaグループ オーナーシェフ)
全日本・食学会シェフ

12:10

⑦ TOKYO MX スペシャルステージ

スティーブン・ヘインズ(ビューティトレーナー)

12:40

12:45

⑧ GTF北陸応援トークショー

宮崎 由加(タレント)×
富山県立南砺福野高等学校 農業環境科

12:55

13:15

⑨ SATOYAMA&SATOUMI トークショー

SATOYAMA&SATOUMI movement
(まこと・上々軍団・宮崎 由加・ロージークロニクル)

13:45

13:50

⑩ いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト
トークショー

中井 徳太郎(元環境事務次官)
中島 さち子(大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー)

14:20

14:35

⑪ TOKYO FM スペシャルステージ
Roomie Roomie!
公開収録トーク&ライブ

厩村 ちあき(弾き語りトラックメイカー・アイドル)

15:15

15:25

⑫ SATOYAMA&SATOUMI
環音(わおん)LIVE

SATOYAMA&SATOUMI movement
(上々軍団・宮崎 由加・ロージークロニクル)

15:55

16:00

⑬ エンディング

※スケジュールは都合により変更となる場合がございます。

10:00

⑭ オープニング

SATOYAMA&SATOUMI movement
(林 マヤ・上々軍団・Bitter & Sweet・
ロージークロニクル)

10:10

⑮ 新宿御苑 菊花壇展の楽しみ方

小坂 菜那(新宿御苑管理事務所 菊科)

10:25

10:30

⑯ GTF“祭りのカ”スペシャルパフォーマンス

ダンスパフォーマンス集団 迫 -HAKU- (よさこい)

10:45

10:50

⑰ グリーンフォトチャレンジの楽しみ方

SATOYAMA&SATOUMI movement
(林 マヤ・上々軍団・Bitter & Sweet・
ロージークロニクル)、
出展者・東京国際工科専門職大学

11:20

11:25

⑱ TOKYO MX スペシャルステージ

二見 颯一(演歌歌手)、榎葉 樹人(テノール歌手)

11:55

⑲ 脇屋友詞の環食(わしょく)の楽しみ方

脇屋 友詞(Wakiyaグループ オーナーシェフ)
全日本・食学会シェフ

12:05

12:15

⑳ SATOYAMA&SATOUMI
トークショー

SATOYAMA&SATOUMI movement
(林 マヤ・上々軍団・Bitter & Sweet・
ロージークロニクル)、

12:45

12:55

㉑ Visionary Gospel Choir
環音(わおん)LIVE

Visionary Gospel Choir(ゴスペル)

13:15

㉒ GTF“祭りのカ”スペシャルパフォーマンス

越中五箇山 こきりこ唄保存会 (こきりこ節)

13:30

13:35

㉓ TBSスペシャルステージ

五箇 公一(国立研究開発法人 国立環境研究所生物多様性領域 室長)
小林 由未子(TBSアナウンサー)

14:15

14:25

㉔ SATOYAMA&SATOUMI
環音(わおん)LIVE

SATOYAMA&SATOUMI movement
(上々軍団・Bitter & Sweet・ロージークロニクル)

14:55

15:10

㉕ MINMI 環音(わおん)LIVE

MINMI(シンガーソングライター)

15:40

15:50

㉖ エンディング

環境に配慮したイベント運営

100%再生可能エネルギーでの運営

関彰商事株式会社様のご協力の元、ステージで使用する電力(再生可能エネルギー)を、EVカーより給電。給電する過程でのCO2を削減し、新たなイベント運営のカタチを参加者にPR。



株式会社Jackery Japan様のご協力の元、ポータブル電源に再生可能エネルギーを充電し、各ブースに給電。





Act 1 たべよう 環食(わしょく)



環食のススメに基づき、中華の名匠 脇屋友詞シェフ(Wakiyaグループ オーナーシェフ)が、環境に優しいメニューを監修！

フードロス削減、プラスチックスマート、フードマイレージ、能登北陸の復興などを意識したメニューを開発。



メニュー監修

脇屋 友詞
Wakiyaグループ
オーナーシェフ

脇屋友詞シェフ 監修メニュー

1 能登豚のとろとろ角煮 ご飯～七尾の玉子焼 きを添えて～ 1,000円／384食	2 Wakiyaのぷりぷりエ ビチリとエビマヨ 2種のお楽しみ 1,000円／221食	3 クッキーストロー？！ で飲むジャスミンタピ オカミルクティ 500円／200杯	4 クッキーストロー？！ で飲むアイスコーヒー 400円／165杯
---	---	---	---

今回の環食各メニューのポイント

			該当メニュー	協力
	地産地消による 輸送時のCO2削減	・ 江戸東京野菜（内藤とうがらし）を使用	1 2	おいしい水大使館
	フードロス削減	・ 魚の可食部を多く使う練り製品使用 ・ 規格外の海老を使用	1 2	紀文食品 日本海老協会
	プラスチックスマート、 水資源の保全、 温室効果ガス削減	・ カップにリユース食器を使用 ・ ストローの代わりに「コロネクッキー」を使用 ・ 水道水を浄水した純水を再充し、ボトル などの廃棄量を削減。	3 4	ブルボン 環境向学
	紙資源の削減、森林保全	・ 国産の絵を使った間伐材の箸を使用 ・ エコティーバッグ（生分解ティーバッグ）が 使われたジャスミン茶を使用	1 2	伊藤園
	温室効果ガス削減	・ 8時間かけて抽出する水出しコーヒーを使用	3	タリーズコーヒージャパン
	能登&福島の森里川海の 復興、つなげよう、支えよう 東北の森里川海	・ 石川県の能登豚と、七尾の玉子焼きを使用 ・ 福島県産小麦粉を使用したワンタンを揚 げてトッピング	1 2	サッポロ製麺



Act 1 たべよう

環食・キッチンカー



アイコンの説明

#

テント番号

初

新宿御苑初出展

48

初



FISH A WEEK/全日本・食学会

スパイスと魚を組み合わせた新感覚のヘルシーごはん。

49

初



鰯玉かがり 天ぷら玉衣 高野竜一 全日本・食学会

ヒラメと加賀野菜のホイル焼き
飼料の利用効率や成長率を向上させた「養殖ヒラメ」と、能登復興支援として「加賀野菜」や旬の野菜を包み焼き料理。

50

初



総本家更科堀井 堀井良教 全日本・食学会

そば屋のヴィーガンキーマカレー
【蕎麦の職人】がちよっとひねってそば屋のヴィーガンカレーを提供。

51

初



龍旗信 松原龍司/清游 内海亮 全日本・食学会

チーズがいっぱい坦々まぜそば
将来のタンパク質クライシスに備え、植物性の油脂とたん白で動物性食品の風合いを演出した坦々まぜそばを提供。

56

紀文食品

「かつお節と昆布の旨み」がギュッと詰まった定番のネタが6種入った体におでん。
※環食企画に食材協賛も実施

57

初



日本橋ゆかり 野永喜三夫 全日本・食学会

海老LOVE♡LOVE深川うどん
東京食材（アサリ・ネギ・海老）とSEA VEGETABLE（すじ海藻）をテーマに商品開発をした深川うどん。

58

初



料理人 戸田康利/全日本・食学会

ジャージー牛のローストビーフ丼
産まれても価値がないものとしてすぐに処分される牛肉の価値を高める肥育方法や料理方法を長年研究し、美味しいローストビーフを提供。

59

初



8 TAKE 柴海農園キッチン

環境負荷の少ない、自社農園の有機野菜を使用したフードメニューやスイーツ、ドリンク等を販売。

60



Kokage Kitchen

東日本大震災被災児童自立支援PJ「Support Our Kids」のカナダ研修に参加したメンバーが福島県川内村のそば粉を使ったワッフルを提供。



Act 2 ふれよう ワークショップ・展示



楽しく環境や、いきものについて学べる、工夫を凝らした体験型ワークショップや展示が多数出展！

生物多様性、リサイクル、間伐材、プラスチックスマート、再生可能エネルギーなど、出展各社が取り組むグリーンチャレンジを、ワークショップを通して参加者の皆様に体感頂きました。

アイコンの説明

- # テント番号
- ワークショッ
プ
- 展示
- 物販あり
- 初 新宿御苑初出展

4



マイグリーンチャレンジボード (東京国際工科専門職大学)

あなたのグリーンチャレンジを貼って、皆で大きな木を育てるワークショップ。

5



星キャンプ 地球を体験しよう！

今日の東京の星空が御苑で見られる芝生の上のプラネタリウムと、星のペンダントづくり。

8



いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト 実行委員会

「いのち」と「ちきゅう」を「みらい」につなぐ為の私たちの活動をご紹介します。

9



南砺市（エコビレッジ推進課、交流観光まちづくり課）

富山県南砺市から、SDGsへの取組、観光情報などの展示。

10



井波彫刻協同組合

富山県南砺市が誇る伝統工芸『井波の彫刻』。彫刻作品の制作過程で出る木っ端（こっぱ）で香り袋を作ってみよう！

11



全日本・食学会

全日本・食学会の活動紹介やワークショップ。



Act 2 ふれよう ワークショップ・展示



12



日本製鉄ブース

日本製鉄の海の森づくり紹介、オリジナルブリキ缶バッジ制作。

17



one in the world

電気を使わないキャンドルペンダントづくり。

18



スマホ充電ステーション by Jackery

再生可能エネルギーを充電したJackeryの大容量ポータブル電源であなたのスマホを充電してみませんか。

19



羊毛フェルトKSH

自然素材の羊毛100%を使った簡単なワークショップと羊毛製の帽子の販売。

20



一般社団法人日本海老協会

えび丸ごと夢の料理コンテスト2024の作品展示、海老フライキーホルダーのワークショップ。

22



樵木林業 (四国の右下木の会社/徳島県)

江戸時代から続く森林再生・循環型林業「樵木林業」と備長炭の紹介。

23



環境省 国立公園

日本の国立公園の魅力発信。

24



伊藤園 「Green Tea for Family」

体験試飲、お〜いお茶エコティーバッグの紹介、伊藤園「お茶で世界を美しく」環境活動ご紹介。

25



新宿区役所

地球温暖化について考えよう。



Act 2 ふれよう ワークショップ・展示



26



群馬県沼田市 間伐材から「マイ箸」を作ろう！

間伐材をカンナで削って「マイ箸」を作ろう！

27



Blue Earth Project

大学生と高校生による、楽しく学べるワークショップや、クイズやゲームの実施。

28



Support Our Kids

東北の魅力紹介や防災に関するワークショップ。能登の高澤ろうそく、とまと梅販売。

29



長野県伊那市

間伐材を使用した木工ワークショップ展示。

30



あきる野市

森林レンジャーあきる野活動紹介、野生動物剥製展示等。

31



イノカ&セキショウグループ

海洋環境の現状、海と陸の関わりを学ぶ。

33



初



妙高高原ビジターセンター (妙高戸隠連山国立公園)

妙高戸隠連山国立公園、妙高高原ビジターセンターの案内等。

37



初



一般社団法人JBRC

小形充電式電との回収・リサイクルについての活動紹介。

38



TOKYO MX

TOKYO MXで放送するジャパンラグビーリーグワンのチームを招いてラグビー（タックル）ミニ体験会。



Act 2 ふれよう

ワークショップ・展示



39



リサイクル竹とんぼをつくろう！
(アゼリーグループ)

STEAM保育—遊びながら学ぶSDGS。

40



災害用浄水機器（環境向学）

災害時に利用できる浄水機器。

42



初



独立行政法人環境再生保全機構

生物多様性にまつわる工作・ワークショップコーナーの展開。

44



環境省 環境再生・資源循環局

福島県環境再生事業について。

45



TBS「オールBEE感謝祭」

みつばち達に関する早押しクイズ！
地球環境について学んじょう。

52



初



WOTA

水循環型手洗いスタンド「WOSH」の展示
および体験。

53



EVカー（関彰商事）

再生可能エネルギーを充電したEVカーから
ステージに給電している様子をご覧ください
ます。

54



サウナバス

薪ストーブのサウナバスの展示。





Act 3 えらぼう マルシェ・シヨップ



色とり豊かな旬の野菜や果物、エコな雑貨が集まる循環型マーケット！

北海道、宮城、福島、富山、東京、千葉、滋賀、京都、和歌山、徳島など、たくさんの地域からバラエティに富んだ商品が新宿御苑に集まりました。

アイコンの説明

- # テント番号
- ワークショッ
プ
- 展示
- 物販あり
- 初 新宿御苑初出展

6



富山県立南砺福野高等学校

高校生が真心込めて育てた南砺市の旬の味 あんぽ柿、米、ジャムなどを販売します。

7



なんとね（富山県南砺市）

自然に寄り添い丁寧に育てた農産物、加工品の販売。

13



徳島・松茂マルシェ(八芳園)

SDG s 先進県・徳島の旬の味や環境に優しいカトラリーを販売します。

14



来らんしょ ふくしま

農業法人「猪苗代ハーブ園」における農業体験の取組とハーブ園グッズ販売。

15



さわやま農場（北海道十勝）

黒千石茶、黒千石大豆などの販売。

16



（2日のみ） 天然石とドライフラワーで秋を楽しもう

天然石とドライフラワーを使った作品の販売。ウッドピースと天然石を使ったプレスレットのワークショップ。



Act 3 えらぼう マルシェ・ショップ



16



(3日のみ) Tea&Things (福島県川内村)

福島の規格外フルーツと自家栽培ハーブから作ったフルーツハーブティの販売。

21



Allied Coffee Sustainable

抽出残渣をアップサイクルして熱源利用し焙煎した環境に優しいコーヒーを販売します。

32



株式会社ブルボン

環境にやさしいお菓子（コロネクッキーとプチシリーズ）販売。

34



甲賀市・一般社団法人東京滋賀県人会

滋賀県甲賀市産茶葉を100%使用したお茶のPR。環境に優しいカートン（間伐材を含む国産材を30%以上含）を先着でプレゼント。

35



KiRe_mono 会津もめん (福島県会津市)

会津もめん製品の販売。衣類やカバン、小物雑貨類。

36



一般社団法人A-GOAL

アフリカでの活動紹介、アフリカ雑貨販売。

41



宮城農産 (宮城県)

牛タンつくね焼き、ソーセージ焼き、(物販) 梨 ブドウの販売。

43



山椒専門店 平野清椒庵 (和歌山県)

国産原料にこだわった粉山椒、ゆず一味など薬味の試食、販売。

フォトギャラリー





Act 3 えらぼう マルシェ・ショップ



46



初



画狂人 井上文太 菊花原画展

菊の花の絵の原画の展示とオリジナルグッズの販売。

47



CANAL CAFE

石川県能登地方のジェラート、フルーツサンゴリア、コーヒーの販売。

56



紀文食品

保存時にエネルギーを使わない常温保存、且つ地球に優しいECOパック使用と、地球にも体にも優しいおでんの販売。

フォトギャラリー





Act 4 まもろう

グリーンフォトチャレンジ



東京国際工科専門職大学

地元新宿の東京国際工科専門職大学「地域共創デザイン実習」の授業連携企画として2023年に企画されたブース回遊型企画。

出展者のグリーンチャレンジを、様々な視点で切り取った写真が集まりました。

実施期間 11/2(土)10:00～
11/4(月)23:59

参加方法 下記参照
投稿数※ 197

※X(twitter)、Instagramにおける有効投票



フォトコンテスト参加方法

1 撮影

会場内で出展者の
素敵なグリーンチャレ
ンジを撮影する



2 投稿

GTF公式アカウントを
フォロー＆コメントと
欲しい景品のハッシュタ
グをつけて投稿

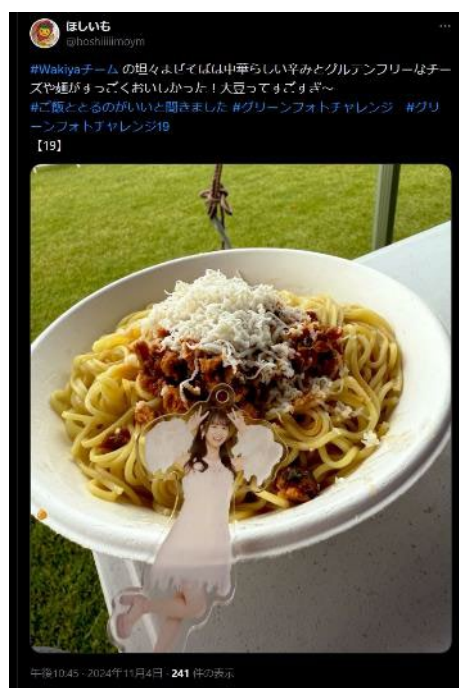


3 抽選

抽選で豪華景品を
プレゼント！



投稿一例



グリーンフォトチャレンジ

17 日本とオーストラリアの
関係の発展とよす





Act 5 つたえよう ステージ

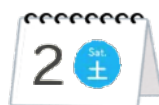


トークショー、ミニライブ、祭りのパフォーマンスと、イベント趣旨を反映したステージプログラムを展開。

令和6年能登半島地震復興支援企画として、日本最古の民謡「こきりこ節(富山県南砺市)」のパフォーマンスや、同市の高校生によるトークショーなどを実施。

来場者と一緒に、環境と復興について考える時間になりました。

MC: 高橋 万里恵
(フリーアナウンサー/両日)



Program ① オープニングセレモニー



磯 和樹
GTF「レートウのイステイバル」実行委員会
企画財務委員長



佐々木 真二郎
環境省 自然環境局
国立公園利用推進室



蘭 由紀子
エフエム東京
アースコンシャス事務局



井上 波
TBSホールディングス
特任執行役員



佐藤 真紀
東京メトロポリタンテレビジョン
代表取締役社長

Program ①

開会宣言
SATOYAMA&SATOUMI
movement



Program ②

菊花壇展楽しみ方 I
井上文太(画狂人)



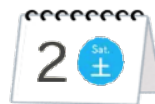
Program ③

菊花壇展楽しみ方 II
小坂茉那(新宿御苑管理事務所 菊科)





Act 5 つたえよう ステージ



Program 4

GTF“祭りの力”スペシャルパフォーマンス
神楽坂 かぐら連(阿波おどり)



Program 6

グリーンフォトチャレンジの楽しみ方
まこと・上々軍団・宮崎由加・ロージークロニクル
・出展者・東京国際工科専門職大学



Program 6

脇屋友詞の環食の楽しみ方
脇屋友詞(Wakiyaグループ オーナーシェフ)
全日本・食学会



Program 8

GTF北陸応援トークショー
宮崎由加(タレント)×
富山県立南砺福野高等学校 農業環境科



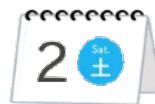
Program 7

TOKYO MX SPECIAL STAGE
スティーブン・ハインズ(ビューティトレーナー)





Act 5 つたえよう ステージ



Program 9

SATOYAMA&SATOUMI トークショー
まこと・上々軍団・宮崎由加・ロージークロニクル



Program 10

いのち・ちきゅう・みらいプロジェクトトークショー
中井徳太郎(元環境事務次官)×中島さち子(大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー)



Program 11

TOKYO FM スペシャルステージ
Roomie Roomie! 公開収録トーク&ライブ
眉村ちあき(弾き語りトラックメイカーアイドル)



Program 12

SATOYAMA&SATOUMI 環音LIVE
上々軍団・宮崎由加・ロージークロニクル



Program 13

エンディング
上々軍団・宮崎由加・ロージークロニクル





Act 5 つたえよう ステージ



Program ①

オープニング

林マヤ・上々軍団・Bitter & Bweet・
ロージークロニクル



Program ②

新宿御苑 菊花壇展の楽しみ方

小坂茉那(新宿御苑管理事務所 菊科)



Program ③

GTF“祭りのカ”スペシャルパフォーマンス

ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-(よさこい)



Program ④

グリーンフォトチャレンジの楽しみ方

林マヤ・上々軍団・Bitter & Bweet・
ロージークロニクル



Program ⑤

TOKYO MX SPECIAL STAGE

二見颯一(声優)・榛葉樹人(テノール歌手)



Program ⑥

脇屋友詞の環食の楽しみ方

脇屋友詞(Wakiyaグループ オーナーシェフ)
全日本・食学会



Program ⑦

SATOYAMA&SATOUMIトークショー

林マヤ・上々軍団・Bitter & Bweet・
ロージークロニクル



Program ⑧

Visionary Gospel Choir 環音LIVE

Visionary Gospel Choir (ゴスペル)





Act 5 つたえよう ステージ



Program 9

GTF“祭りの力”スペシャルパフォーマンス
越中五箇山 こきりこ唄保存会(こきりこ節)



Program 10

TBSスペシャルステージ
五箇公一(国立研究開発法人 国立環境研究所生物
多様性領域 室長)
小林由未子(TBSアナウンサー)



Program 11

SATOYAMA&SATOUMI 環音LIVE
林マヤ・上々軍団・Bitter & Sweet・
ロージークロニクル



Program 12

MINMI 環音LIVE
MINMI(シンガーソングライター)



Program 13

エンディング
MINMI・Bitter & Sweet・ロージークロニクル・上々軍団



メインビジュアル「グリーンハート」



製作者:画狂人 井上文太

グリーンハートは、「ネイチャーポジティブ」「脱酸素」を実現した未来を象徴し、これまでの官公庁・企業・団体・市民の連携が「愛」によって、より持続可能な未来への飛躍を目指す国民の共通目標として表現されています。

グリーンチャレンジのシンボルである緑をベースに、世界共通の愛の象徴であるハートを用いました。

そのハートに囲まれた大きな白い鳥は、グリーンチャレンジに携わる方々の思いと未来への象徴を意味しています。

メインビジュアルを用いた会場展開



【会場入り口】
W5400×H2100
2枚



【ステージ下】
W7200×H600
1枚



【ステージ上下】
W3600×H2100
1枚ずつ



プロモーション①



配布先	チラシ	A1/A2 ポスター	ポスター掲出場所
新宿御苑	5,000	○	新宿御苑内
環境省内および関連施設	2,800	○	環境省内および関連施設
新宿区内小・中・養護学校、各施設掲示板	14,600	○	新宿区内各施設掲示板
TBSホールディングス	500	○	TBS社内
TOKYO FM	200	○	TOKYO FM ホール前
スポンサー	1,430	○	
出演者・出展者	1,050		
後援、協力	680	○	タリーズコーヒー、カナルカフェ、トゥーランドット臥龍居
その他（関係者・来年度スポンサー候補等）	240		
	26,500	240	



A4 告知チラシ



ポスター（A1/A2サイズ）



チラシ配布・ポスター掲出の様子



新宿御苑（左：GTFポスター、右：井上文太作 菊花壇展ポスター）



トゥーランドット臥龍居

TOKYO MX



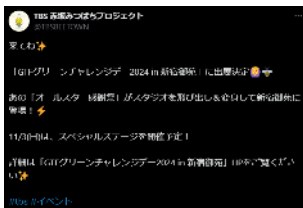
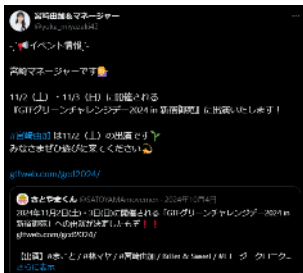
Tully's coffee

カナルカフェ

プロモーション③



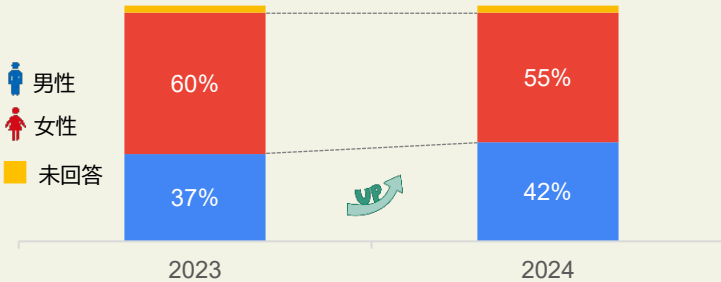
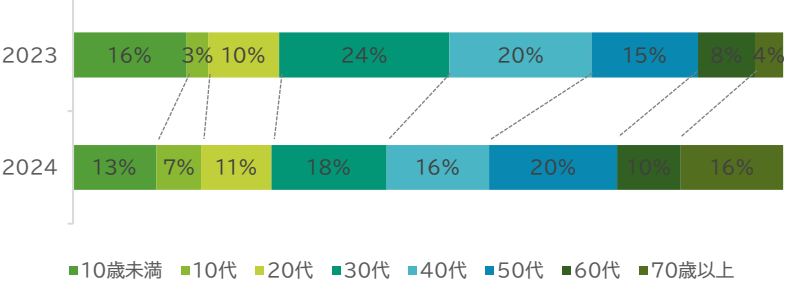
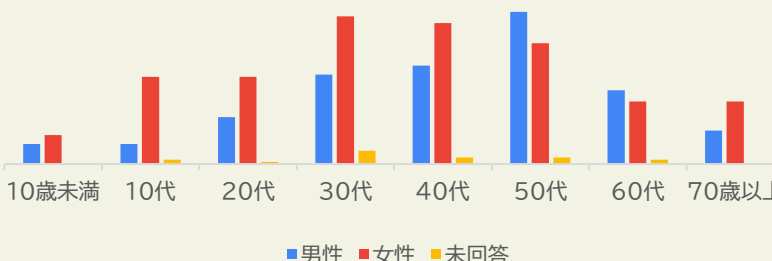
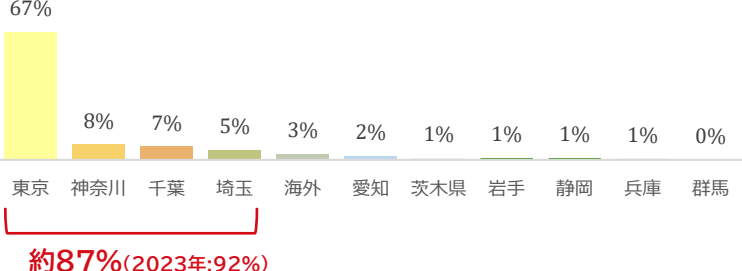
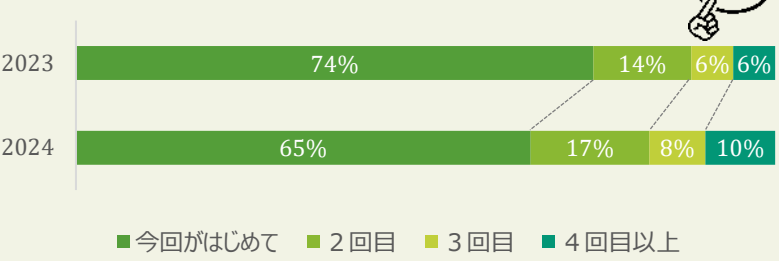
出演者・出展者と連携したウェブ媒体・SNSでの発信



参加者プロフィール



2023年との比較

 男女比	 2023 2024 男性 女性 未回答	男性の割合が若干増えた。
 年齢層	 2023 2024 10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上	2024年度は、10代と70歳以上の割合が大幅に増加した。 菊花壇展との連携が奏功したと思われる。
 年齢層/性別	 10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上 男性 女性 未回答	50代・60代を除いて女性参加者の割合が高い。特に10代の女性参加者の割合が非常に高い。
 地域	 東京 神奈川 千葉 埼玉 海外 愛知 茨城県 岩手 静岡 兵庫 群馬 約87%(2023年:92%)	2023年度より首都圏在住者の割合が減った一方、遠隔地からの参加者の割合が増加した。特に海外在住の方の来場が増加した。
 イベントへの参加回数	 2023 2024 今回がはじめて 2回目 3回目 4回目以上	2023年度よりもリピーターが増加した。

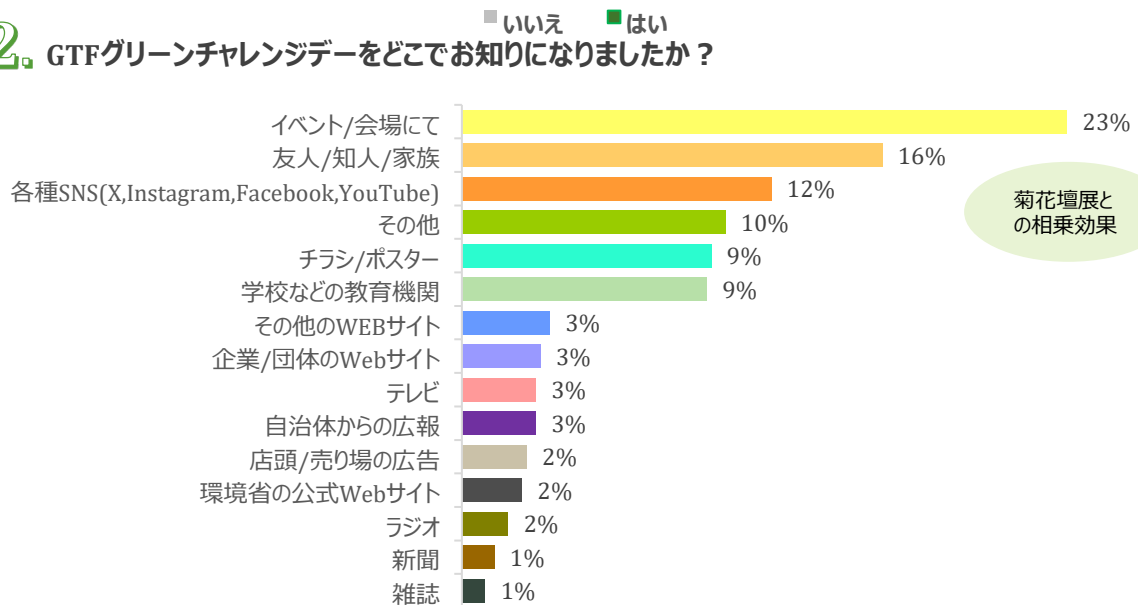
アンケート結果



01. イベント参加後の「環境（地球温暖化や生物多様性、森里川海の恵み）」への意識の変化
例年同様、ほとんどの人が環境への意識に変化があったと回答。



02. GTFグリーンチャレンジデーをどこでお知りになりましたか？



03. あなたが始めてみたい、地球に優しいアクション「グリーンチャレンジ」を教えてください。

「リサイクル・リユース」がトップ。今回初めて「節電」がトップ5にランクイン。

T O P 5



34%

リサイクル・リユース



25%

ゴミを減らす



11%

マイバッグ・マイボトル・
マイ箸・マイストロー



9%

節電



7%

フードロス

04. フォトコンテストで人気の高かった景品

出演者のサイングッズ、おせち料理に人気集中した。



SATOYAMA & SATOUMI
movement全出演者
サイン入りエコTシャツ



SATOYAMA & SATOUMI
movement全出演者
サイン入りエコバッグ



GCD2024
全出演者サイン入り
エコTシャツ



GCD2024
全出演者サイン入り
エコバック



2025迎春
Wakiya特製おせち



©BUNTA INOUE



イベント告知動画



コンセプト動画